

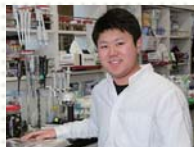
応援団活動を通して築いた地域との強い絆



生物生産学科 / 北海道札幌旭丘高校
就職先・株式会社大気社
阿部 明弘 さん

研究室では無眼球症ラットの遺伝子解析に取り組み、アルバイトでは塾講師のほか農家アルバイトもしました。しかし何といても学生生活の中心は応援団。同じアパートに住む先輩からの勧誘を断り切れなかったのも事実ですが、それまで活発な性格とはいえなかった自分を変えたいという気持ちが入団を決意させました。全学応援団オホーツク支部長として、硬式野球部や競技スキー部の応援ほか、自ら積極的に売り込み、年10数回におよぶ地域のイベントにも参加。住民の方々と信頼関係を築くことができました。夢は札幌から3時間半ほどの今金町で農家を営む祖父の跡を継ぐこと。一度、社会に出て大いにもまれ、広い視野をもったうえで北海道に戻り、農業を通じた地域活性に取り組もうと考えています。

ここに来た意味を見出すため北海道で就職



アクアバイオ学科 / 福岡県立筑紫丘高校
就職先・北海道庁(水産)
下村 翔太 さん

知床に代表される大自然に魅かれて福岡からやってきました。研究テーマはミヤベモクという海藻の室内培養。魚人類に詳しい人はいても海藻に詳しい人は少数です。沿岸域の生態系に欠かせない存在なのに、あまり知られていない点に興味をわいたのです。実際、いくつかの新発見をすることもできました。研究と並行し大変でしたが公務員試験に合格し、北海道庁に水産職員として採用されました。女手一つで一人息子を育ててくれた母の住む地元に戻るか迷いましたが、せっかく4年間過ごしたのに「楽しかった」で終わるのは何か違う。ここに来た意味を見出したかったのです。北海道は有数の水産基地。水産を学んだ者にとって贅沢な仕事場。母はいつか北海道に呼びよせよう。そんな風に考えています。

緑の大地、満天の星空、多様な生物。北海道と聞いてイメージする風景が、ここにある。「この場所で4年間を過ごしたら、大きな人間に成長するだろうな」と予感させられる、広く美しいキャンパスだ。実は、同キャンパスで学ぶ学生の9割近くは関東を中心とした道外の出身。ほとんどの学生が、ある種の覚悟のもと見知らぬ土地にやってきて、一人暮らしを始めたことになる。不安は等しく同じ。頼るべきは友人や先輩。だからこそ自室での夕食に招きあうなど濃密な人間関係が築かれていく。全員が所属し、キャンパスライフの中心となる研究室の教員も、事務職員もわが子のように学生に接し

キャンパス環境とキャリア支援が相乗効果を生む

ている。地域の人も温かい。ホタテの養殖や農産物の収穫など、都市部では経験できないアルバイトを通じて、地域に育てられていく。文理を超え、食、農、生物に関してさまざまな研究を行う4学科で構成される生物産業学部。無人島における海洋哺乳類の調査、寒冷地農場での農業実践、食品の開発製造、地域活性化に向けた調査といった実習、フィールドワークの数々も、生物資源に恵まれたこの土地ならではの。教育理念である「実学主義」を体現する環境で、社会に直結した生きた学問に4年間向き合うのだ。就職活動時には、学生生活や研究で鍛えられた能力、人間性が人事担当者から評価されるといふ。専門性はもとより、コミュニケーション力やマナー、行動力、柔軟性といった

東京農業大学 / オホーツクキャンパス

Tokyo University Of Agriculture

北海道で学ぶ4年間で 社会人として活躍する力を育む

3キャンパス7学部25学科を有し、あらゆる農学分野をカバーする東京農業大学。そのうち生物産業学部があるのが北海道オホーツクキャンパス。徹底した実学教育と大自然に囲まれた環境こそ、高い就職内定率の鍵である。

取材・文 / 堀水潤一

2016年度より実施
「榎本武揚フロンティア入試」



東京農業大学 創設者
榎本 武揚
(1836~1908)

●募集人員(生物産業学部全体)

前期 25名
後期 Aタイプ8名
Bタイプ8名

●スカラシップ

本入試制度の前期合格者20名に対し給付。【Aランク/5名】入学金27万円&授業料半額(33万円)免除。【Bランク/15名】入学金(27万円)免除。

●出願資格

前期は下記の1~4のいずれも満たす者。
1. アドミッションポリシーをよく理解し、北海道オホーツクで学生生活を送ろうという強いフロンティア精神・チャレンジ精神を持つ者で第一志望とする者。
2. 平成30年3月高校(中等教育学校含む)卒業見込みの者および平成29年3月卒業の者。
3. オホーツクキャンパスのオープンキャンパスに参加もしくは個別訪問(要申込)した者。
4. 全体の評定平均値が3.3以上の者。
後期はAタイプ(一般エントリー)、Bタイプ(センター併用エントリー)があり、詳細は募集要項をご確認ください。

●来たれ北の挑戦者たち

本学建学の祖・榎本武揚先生は、オランダ留学を通じて“冒険は最良の師である”という格言を残しています。国際的な視点に立って地域活性化の実現を志す受験生のみならず、時代の先駆者であり、万能の人と呼ばれた榎本先生の精神、そして農大精神を継承し、北海道の大地で新たなフロンティアを築く学びを求め、ぜひこの入試に挑戦してください。

香りへの興味と接客の喜びを満たす化粧品メーカーへ



食品香料学科/東京都・私立共栄学園高校
就職先・株式会社アルビオン
榎村 彩羽 さん



香りの化学研究室で夕張メロンの香気成分の分析をしています。香りは食品に不可欠な要素。香気成分がひとつ抜けるだけでメロンでないかのように感じることもあり、いわばおいしさの本質を調べる大切な研究です。もともと柔軟剤に興味がありましたが、実習で乳液や口紅の製造に関わったことから化粧品に興味。産学連携講座でその思いを強くし、化粧品メーカーへの就職も決まりました。牧場で観光客のガイドをした馬術同好会での経験も接客に生かしたいと思います。高3の夏に参加したオープンキャンパスでは、きらきらと輝く先輩方の姿を見て不安を払拭しました。あれから4年、逆の立場で見学に来た高校生を案内することもあります。あの頃の先輩のように生き生きと映ってほしいのですが。

会社のスケールに負けない大きな仕事をしたい



地域産業経営学科/三重県立四日市農芸高校
就職先・ホクレン農業協同組合連合会
山崎 晃時 さん



農業高校出身で農大にあこがれがありました。都会暮らしが合わない自分にとって、冬はスノボ、それ以外は海釣りを楽しめる最高の環境です。馬鈴薯の収穫やホタテ漁ほか、土壌分析の仕事にも携わりました。全学応援団オホーツク支部吹奏楽部にも所属し、硬式野球部の全国大会にもかけつけました。卒論のテーマは伝統工芸と地域活性化について。万古焼、伊勢型紙、伊賀焼という地元の伝統工芸を産地単体ではなく、地域全体でアピールする仕組みを構築しようと調査を続けています。北海道中心に就活をしたのは、様々な学びや体験を通じて思い入れがあったから。内定を頂いたときは叫びたくなくなるくらいの感情に。会社のスケールに負けない大きな仕事をするつもりです。

Information

東京農業大学/オホーツクキャンパス



1891年、榎本武揚により東京農業大学の源流「育英農農科」創設。現在、世田谷キャンパス(応用生物科学部、生命科学部、地域環境科学部、国際食料情報学部)、厚木キャンパス(農学部)、オホーツクキャンパス(生物産業学部)の3キャンパス体制。教育理念「実学主義」を体現するオホーツクキャンパスの誕生は1989年。生物生産学科、アクアバイオ学科、食品香料学科、地域産業経営学科の4学科体制。網走市街からバス約30分。

●DATA

北海道網走市八坂196
TEL 0152-48-3814 (入試課)
URL <http://www.nodai.ac.jp/>

力も、こうした環境のもと自然に育まれていくといつていいだろう。そして、それを体系的なキャリア教育や就職支援で補っているのがキャリア課だ。オホーツクキャンパスでは、1年次に実施する「社会人基礎力診断テスト」で自身の強みと弱みを把握し、学生生活の目標設定を行うところからキャリア教育をスタートさせる。2年次の「キャリアデザイン」、「ビジネスマナー」、本格的な就職対策を行う3年次の「人間と職業」や「インターンシップ」などのプログラムも用意。特に個別面談に力を入れ、就職活動を控えた3年生全員に職員がアドバイスを行っている。オホーツクで学ぶ学生の多くは首

都圏を中心に就職活動を行うが、その際、世田谷・厚木キャンパスでも面談や相談などのサポートを自由に受けることができる。「オホーツクも厚木も世田谷も一つの大学。キャンパスによる隔てはなく、オール東京農大です」と語るのは世田谷キャンパスの梶山孝泉キャリアセンター長だ。「覚悟を決めて入学したオホーツクの学生は、就活に対しても真剣ぶれないし決断力もある。個々の能力や経験値に加え、その覚悟が企業に伝わるからこそその内定率の高さだと思えます」と付け加える。またある学生は屈託のない笑顔で言った。「人間的な成長を期待するならば、こんなによい場所はありません」。